

第6学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう
 『鳥獣戯画』を読む』～表現の工夫を身につけよう～
 「自分の好きなことを発信しよう」～「好き」を発信！マイホビーショー2023～

2 児童の言語活動及び活動目標

- 自分の好きなことを伝えるためのパンフレットを作ろう

3 教師の指導目標

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるようにする。 [知識及び技能] (2) イ
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようにする。 [思考力・判断力・表現力等] B (1) イ
- 引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように目的に応じて書き表し方を工夫することができるようにする。 [思考力・判断力・表現力等] B (1) エ
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができるようにする。 [思考力・判断力・表現力等] C (1) ウ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとすることができるようにする。 [学びに向かう力・人間性等]

4 単元の評価規準

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2) イ) | ①「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ②「書くこと」において、目的に応じて、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ③「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) | ①自分の考えが伝わるように表現の仕方を工夫したり、文章と図表を結び付けたりするなど、工夫して書き表すことに粘り強く取り組み、見通しをもってパンフレットを作ろうとしている。 |

5 主体性の評価基準

| 主体的に学習に取り組む態度 | |
|---------------|---|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・「好きなことパンフレット」の作成において、相手や目的に応じて『『鳥獣戯画』を読む』で学んだ表現などの書き表し方の工夫を用いて、友達と話し合ったり自分の学習を振り返ったりしながら思いを表現しようとしている。 ・絵や写真、表やグラフを本文と照らし合わせながら効果的に活用しようとしている。 ・自分の作品をさらによいものにしようと友達と話し合ったり、インターネットや本で調べたりするなど、様々な手法で探究的な学習を行っている。 |
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・「好きなことパンフレット」の作成において、相手や目的に応じて『『鳥獣戯画』を読む』で学んだ表現などの書き表し方の工夫を用いて思いを表現しようとしている。 ・絵や写真、表やグラフを活用しようとしている。 ・自分の作品をさらによいものにしようと、進んで学習形態や方法を工夫している。 |
| C | <p>「好きなことパンフレット」の作成において相手や目的を意識せずに書いており、表現の工夫をしようとしていない。</p> |

6 単元について

(1) 児童の実態と身に付けさせたい力

本単元では、「目的に応じて自分の考えが相手に理解できるように書き表し方を工夫する」ということを身に付けさせたい力とする。図や表、グラフの使い方も文章の書き表し方の工夫も目的に応じて効果的なものが変化する。筆者の事例を挙げる意図や、図や写真の見せ方に着目させることで、どのような表現を使うと自分の伝えたい思いが相手に伝わるかを考えさせたい。

また、児童が主体的に学習に取り組むために、本教材の学習を通して、「好きなことパンフレットを作ろう」という言語活動を設定した。自分が好きで、詳しいことを思う存分書くことや、ページが複数あり、ページを生かした表現の工夫や、図と写真を結び付けることができるという面で、パンフレットという制作物が適していると考える。相手に理解してもらおうと、書き方を試行錯誤していくことで、伝える力を高めさせていきたい。

(2) 本単元で扱う言語活動と教材について

本単元は、小学校学習指導要領国語[第5学年及び第6学年]の[知識及び技能]における、「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」の指導事項「語彙 オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。」[思考力・判断力・表現力]における「B 書くこと」の指導事項「題材の設定、情報の収集、内容の検討 ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。」「考えの形成 記述 エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。」「C 読むこと」の指導事項「精査・解釈 ウ 目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。」を受けて設定したものである。

本単元は『『鳥獣戯画』を読む』と「自分の好きなことを発信しよう」を扱う複合単元である。『『鳥獣戯画』を読む』はアニメ界の巨匠である高畑勲氏による、絵巻物『鳥獣戯画』を紹介した文章であ

る。小学生には踏み込み辛い江戸時代の文化を、問いかけるような口調や、実況のようなスピード感のある言い回しで、まるで漫画を読んでいるかのように読者に興味をもたせながら展開していく。教科書のページと絵巻物の展開を対応させるという絵の見せ方についての工夫など、今までの説明文では味わえない、高畑勲氏ならではの表現に触れ、児童は楽しみながら本文を読み取ることができるだろう。表現の工夫を学び、パンフレットで自分の伝えたいことを相手に理解させたり、興味をもたせたりする表現について精査することで、よりよい文章を作成することへとつなげていきたい。

そのため、第一次では表現の工夫の効果を認識できるような活動を取り入れた。児童自身がまだ効果に気付いていない「表現の工夫」について、そのよさを気付かせるために、表現の工夫を用いたモデルと表現の工夫を用いないモデルを用意し、比較した。そこで児童は自分たちで気付かなかった表現の工夫についてその表現の効果を実感した。そこで、児童に「好きなことパンフレット」を作る見通しを立てることで、新しい表現の工夫を身に付ける手段として『鳥獣戯画』を読む』を学習する必要性へとつながると考えた。読者に興味をもってもらえるような表現の工夫を身に付けることを目的に、学習計画を作成した。

第二次では筆者の『鳥獣戯画』に対する思いについて考え、表現の工夫を探していった。パンフレットを作成することを意識しながら、筆者がなぜこのような文章を書いたのかについて考えた。筆者の『鳥獣戯画』に対する思いを考えることで、表現の工夫を、意図を伴って理解し、まとめていくことができた。

第三次では、パンフレットを作成した。相手を意識しながら作成することで、自分が好きなことを理解してもらうためにはどのような表現が適切か、『鳥獣戯画』を読む』はもちろん、既習の説明的文章や既存のパンフレットを読みながら、試行錯誤して、思いを表現した。

第四次では、作成したパンフレットに対し、振り返りを行った。パンフレットやノートに残した学習の足跡を確認しながら第一次と比べてどのような成長があったかを振り返ることで、伝える力を高めるための意欲となった。

8 指導計画 (15 時間扱い)

| 過程 | 時間 | 主な学習活動・内容 | ○指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
|-----|----|---|--|------------|
| 第0次 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ○「好きなことパンフレット」を作るという目的に向けて様々なパンフレットを読み、よいと思う表現や構成を見つける。 ○自分の好きなことに関する調べ学習を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ○事前に「好きなことパンフレット」を作るということは伝えておき、それをイメージしながらパンフレットを持ってきたり、読んだりさせる。 ○よいところは付箋で張っていくようにする。 | |

| | | | | |
|------------|--------|---|--|---|
| 第一次 つかむ | 1 | <p>○「好きなことパンフレット」のテーマと目的を決め、作成するための見通しをもつ。</p> <p>○『ドラえもん』の紹介。表現の工夫を取り入れたモデルと取り入れないモデルの2種類を比較して読み、どちらが作者の意図が伝わるかを考える。</p> | <p>○「好きなことパンフレット」を作成するという目的に向けて学習を進めていくということを常に意識させるようにする。</p> <p>○表現の工夫のよさを感じさせるために事前に行っている文のチェック項目を確認する。</p> <p>○見付けた表現の工夫を仲間分けしておく。</p> | <p>[主①] <u>ノート</u></p> <p>・「好きなことパンフレットの作成」に主体的に取り組もうとしているかの確認。</p> |
| | 2 | <p>○表現の工夫が与える効果を理解し、それを生かして、パンフレットを書くために『鳥獣戯画』を読む』を読解していくという目的をもち、学習計画を立てる。</p> | <p>○表現の工夫ごとに与える効果についてまとめる。</p> <p>○目的や学習計画を児童中心となって話し合い、決めるようにする。</p> | <p>[主①] <u>ノート・発言</u></p> <p>・パンフレットを作成するために身に付けたい力を意識して学習計画を立てようとしているかの確認</p> |
| 第二次 深める | 3 | <p>○筆者の工夫と本文に込められた意図について考える。</p> | <p>○筆者が『鳥獣戯画』に対してどのような思いをもって文章を書いているか考えるよう確認する。</p> | <p>[知・技①] <u>ノート</u></p> <p>○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しているかの確認</p> |
| | 4 5 | <p>○筆者の表現の工夫とその効果について調べてまとめる。</p> | <p>○表現の工夫を見つけ、効果について考察するよう声をかける。</p> <p>○自由な交流や調べ学習を勧める。</p> <p>○パンフレットに生かすことを意識しながら問いかけや評価などの種類ごとに効果をおさえてまとめるようにする。</p> | <p>[思・判・表③] <u>ノート</u></p> <p>○文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしているかの確認</p> |
| | 6 | <p>○「調べた情報の使い方」を読み、著作権への理解を深める。</p> | <p>○引用や出典などの既習事項は簡単に確認する程度とする。</p> | |

| | | | | |
|----------------|------------------|---|--|---|
| 第三次 深める「書く」 | 7 | ○学習した表現の工夫や、第一次で立てた目的、テーマを基にパンフレットの構想を練る。 ○パンフレットのテーマと目的を発表ノートとして提出する。 | ○第一次と目的、理由があればテーマが変わってもよいとする。 ○次時以降、児童同士で閲覧できるようにし、自分が気になった友達へ質問しに行けることを知らせる。 | [思・判・表②] <u>ノート</u> ○伝えたいことを明確にし、効果的に伝わるよう、紙面構成を考えている。 |
| | 8 9 10 | ○パンフレットをかき、発表ノートで自分のパンフレットを提出する。 | ○分からないところや不安なところがあれば、発表ノートを見て聞きに行くように声をかける。 | [思・判・表①] <u>パンフレット</u> ○伝えたいことを明確に、効果的に伝わるように考え、文章全体の筋道を整えているかの確認 |
| | 11 12 (本時) | ○パンフレットをかいた目的を友達に伝え、それが伝わる表現の工夫が使えているか、グループで検討する | ○第4時、第5時と同じように学習を進める。 ○お互いの表現の工夫に着目させ、検討できるようにする。 | [思・判・表②] <u>パンフレット</u> <u>ノート</u> ○引用したり、絵や写真などと文章の組み合わせを考えたりして、伝えたいことが伝わるように書き表し方を工夫しているかの確認 |
| | 13 | ○編集後記や表紙を完成させる。 | ○引用文献の書き方を確認する。 | |
| | 14 | ○パンフレットを完成させる。 | ○図や表、絵をとり入れたり、直したりさせる。 | |
| 第四次 広げる | 15 | ○友達のパフレットを読んで感想を伝える。 | ○内容がよいもの、関心をもったもの、表現の工夫が際立ったものを感想として伝えることができるように事前に確認する。 | [主①] <u>発言</u> ○友達のパフレットを積極的に読み、感想を伝えようとしているかの確認 |

| | | | | |
|--|----|--|---------------------------------|---|
| | 16 | ○自分のパンフレットと学習を振り返る。 ○友達、教師からチェックをもらう。 | ○前回の自己評価と比べてどう成長したかを確認できるようにする。 | [主①] <u>ノート</u> ○自分の文章を客観的に捉え、評価をしようとしているかの確認 |
|--|----|--|---------------------------------|---|

9 研究の視点

研究主題

主体的・対話的で深い学びを通して、
自ら考え、行動できる力を身に付けた子どもの育成

視点1 自ら考え、行動できる力を身に付けさせるための指導の工夫

本単元において、児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現した姿を「目的意識をもち、自分が伝えたいことを明確にして、どのように表現すれば相手が自分の考えに共感するのか、友達と話し合ったり、調べたりしてパンフレットに書き表そうとしている姿」と考えた。そこで、児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための必要な手立てとして以下の2点を実践した。

○学びを生かす学習計画の工夫

本単元は、「読むこと」、「書くこと」の複合単元である。筆者の意図を理解し、そこからその意図が伝わる表現の工夫を探したり効果について考えたりすることを『『鳥獣戯画』を読む』から読み取った。その読みを生かしてパンフレットを書くことにつなげた。このように学びを生かして次の学習を進められるように学習計画を工夫した。そうすることで、自分のパンフレットを書くときに、意図を伝えるために表現の工夫を使うことができた。

○「書く力を高める」という年間を通したテーマをもった学習活動

本学級では、国語を勉強する意味について話し合い、「書く力を高める」というテーマで学習を行ってきた。説明文の時間や意見を発表する時間、ステップタイム時間などで、児童間で決めたチェック項目を基に自己評価をし、ランダムな友達に評価してもらう時間をとった。そのため、児童は書く力を高めるためにどのようなことを意識し、どのように表現すればよいのかを考えながら学習に取り組むことができた。さらに自分の評価、友達の評価、そして教師の評価を比べることでメタ認知能力も向上し、自分自身で学習を調整していく能力も向上してきた。本単元では、『『鳥獣戯画』を読む』のよい表現を見付けることができ、それを生かして書くことができた。

○目的意識を高めるための「好きなことパンフレット」の作成

本単元では、目的意識を高めるために言語活動を「好きなことパンフレットの作成」と設定した。テーマを「好きなこと」としたことで、児童は自分たちが詳しい分野についてパンフレットを書くことになり、より魅力を伝えようと主体的に活動する姿が見られた。また、自分が勧めたことを一緒にやってもらうために、さらに魅力的で説得力のある情報を探したり、より迫力が伝わる絵や写真を用いたりするという目的意識が高まった。このように、子ども一人ひとりがより良いパンフレットにしようと探究的に学ぶ姿が見られた。

○自由交流のしやすいギガタブ活用

学習活動の際、国語の活動に限らず、ギガタブの提出箱を使い、自分の考えを書いたノートを提出し、児童同士で見合えるようにしている。実際にノートで見るよりもたくさんの友達の考えに触れることができるため、活発な交流につながった。自分の考えを構築していく上で疑問が生じたとき、自分とは方向性の違う考えをもつ友達や同じような考えをもつ友達と話し合うことで、考えを広げたり深めたりするなど、児童一人一人のニーズに応えやすいものとなり、活発な交流を進めることができた。

本単元ではパンフレット作成を手書きで行ったが、ギガタブで作成した方が、普段の学習を生かし、友達と試行錯誤しながら目的や意図がより伝わるパンフレットを作ることができたであろう。

10 本時の指導 (12/16)

(1) 目標

- ・伝えたいことを明確に、効果的に伝わるように、絵や写真など文章の組み合わせを考えて書きし方を工夫することができる [思考力・表現力・判断力 B 書くこと (1) エ]

(2) 評価基準

| 思考力・表現力・判断力 | |
|-------------|---|
| A | ・目的意識とその意図を明確にし、「『鳥獣戯画』をよむ」だけではなく、既習事項から、自分の伝えたいことが最も伝わるように表現を工夫し、友達の良い表現を見つけたり取り入れたりしながらパンフレットの記事を書いている。 |
| B | ・目的意識とその意図を明確にし、「『鳥獣戯画』をよむ」で学んだ表現の工夫を生かしてパンフレットの記事を書いている。 |
| C | ・表現の工夫を生かそうとせずにパンフレットの記事を書いている。 |

(3) 展開

| 時配 | 主な学習活動と内容 | 学習形態 | ○指導や支援の手立て ◇評価 |
|----|--|------|--|
| 2 | 1 本時のめあてを確認する。 | 一斉 | ○指導や支援の手立て ◇評価 ○パンフレットをどんな目的で誰に見せたいのかを確認することで、表現の工夫の効果について確かめる |
| | 学 自分の伝えたいことがより伝わる表現について検討し、パンフレットの記事を書こう。 | | |
| 10 | 2 ギガタブで友達の文章を表現の工夫が与える効果に着目して読み、見えそうな表現や、意図が伝わる表現をメモする。 | 個人 | ○前時までにギガタブの提出箱に発表ノートで提出し、互いに見合うことができるようにしておく。 |
| 12 | 3 友達の文章を読んで、目的に合っていると思った表現の工夫を発表する。 ・映画のシーンの説明をするときに体言止めを多用しているので、臨場感が伝わり、効果的だと思いました。 ・行ったことがない場所の説明なのに、問いかけの表現を使うことで身近に感じました。 | 全体 | ○「体言止めはリズムがよい」、「問いかけは身近に感じさせる」など、表現の工夫特有の効果と、パンフレットの内容を関連付けて発表できるよう、目的を確認する。 ○見つけることが難しい児童には「『鳥獣戯画』を読む」と同じ効果が使われているものを探すよう促す。 |

| | | | |
|----|---|----|--|
| 18 | 4 自分がメモした表現や、友達が発表した表現の工夫を取り入れて、自分のパンフレットを加筆修正する。 | 個人 | <p>○友達の表現の工夫を取り入れる際に、困難が生じた場合は友達に聞きに行くなど、自由な交流を行うようにする。</p> <p>◇【思・判・表③】</p> <p><u>パンフレット</u> <u>ノート</u></p> <p>伝えたいことを明確に、効果的に伝わるように、絵や写真などと文章の組み合わせを考えて書き表し方を工夫することができる。</p> |
| 3 | <p>5 今日の学習の振り返りを書く。</p> <p>・自分が使っていた問いかけの言葉よりも、友達が使っていた言葉の方が自分のテーマに合っていました。テーマを意識しながら表現を工夫し、パンフレットを書いていきたいです。</p> | 個人 | <p>○今日の学習を通して考えが変わったこと、新しく学んだことなど、パンフレットの完成を意識しながら振り返りを書くようにする。</p> |

11 板書計画

| | | | | | |
|---|-----------------------------------|--------------------------|----------------------------|----|---|
| ふ | ○ ○さん | ○ ○さん | ○ ○さん | 名前 | <p>友達の表現とその効果</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>自分の好きなことを発信しよう</p> <p>学 自分の伝えたいことがより伝わる表現について検討し、パンフレットの記事を書こう。</p> </div> |
| | 絵の見せ方 | 評価 | 体言止め | 表現 | |
| | 予想ができない展開を絵の見せ方で表し、話の内容つながる効果がある。 | 断定的な評価をしていてとても好きな気持ち伝わる。 | リズム感があり、絵なのに生き生きとした様子が伝わる。 | 効果 | |